

1996年10月30日発行 第31号

## Dream Come True <br> ～アトランタにて～

179の国と地域から1万5千人のスポーツマン が集まって 4 年に 1 度のオリンピックが米国ジョ ージア州アトランタで開催された。競泳競技は，昨年パンパシフィック選手権が行われたジョージ ア工科大学のプールで行われた。ただこの大会の ために作られた地上 10 m を越す架設スタンドに より昨年とは全く違った圧迫感が感じられた。会場は，「この日のために……」と思ら選手，コー チ，家族や関係者の熱い思いが渦巻いていた。「これがオリンピックだ」，私は鳥肌を立てて感動 していた。
競泳第6日目朝，少し冷たい風を感じながら ジョギングしていた私は，色々なととを思い出し ていた。まだ水着がへそまであった頃，少しのと ころでジュニアオリンピックに出場できなかった事，それから人一倍練習に気合いが入った事，表彰台に初めて立った事，二人で飯を食べながら世界を目指そらと話したとき，2年前の日本選手権 で日本新で優勝した事，世界選手権での快挙，去年の苦しみ，今年の選考会，そんなことが思い浮 かんできた。走り終えたとき，「あいつはきっと やる，俺も死ぬ気で応援しよう。」そう思ってい た。

予選最終組に出場の平野は，最初の 100 m を 56秒台で入る積極的なレース， 200 m 以降も 100 m を 1 分 1 秒から 2 秒前半をキープ， 1000 m 過ぎ たあたりからペースダウンした 4 コースの世界記録保持者 K ・パーキンスをラスト 100 m で拔り去 り男子自由形としては東京オリンピック以来32年 ぶりの決勝進出といら快挙を成し遂げた。
1996年8月26日 20 時 34 分 1500 m 自由形決勝。 1 コースからRピニースリング（南アフリカ）， J・ホフマン（ドイツ），A・アカーチェフ（ロシ ア），D・コワルスキー（オーストラリア），G•

スミス（イギリス）， $\mathrm{E} \cdot$ ブレンビラ（イタリア），平野雅人（日本），K・パーキンス（オーストラ リア）。今季不調のパーキンスは，8コースぎり ぎりで予選を通過していた。7コースに立つ平野 に「よくぞここまで……」の思いと「ぜひ，ベス トを……」の願いを繰り返した。レースは前日の予選とは別人のようにパーキンスが圧倒的な強さ で，ただ一人 15 分を切り優勝した。平野は 6 位に はいる健闘をみせた。 500 m までベストで入り 1000 m でベストに 0.39 遅れた，最後の 500 m 頑張ったもののベストに 1 秒 84 及ばなかった。しか しながら，あらためて《王者》パーキンスの底力 を感じたレースであった。
$400 \mathrm{~m} \times$ ドレーリレーの表彰の時，優勝したア メリカチームは旗を持っていた。旗に書かれた文字は『Thanks America For A Dream Come True』。そして日本に帰って何日か過ぎた今で も，そしてこれからも私の思いは『Dream Come true』である。（研究所競泳コーチ 小島 竜司）


競泳会場（ジョージア工科大学プール）の外観 （phot by Kojima）

## ダイエットプログラム参加者の形態まちよび身体組成の変化

## 【はじめに】

肥満は，高血圧症や糖尿病等のリスクファクタ ーとして，現代社会において重大な健康上の問題 となっています。肥満の解消の原則は，摂取エネ ルギーを減らすか，消費エネルギーを増やすか， もしくは両方を同時に試行することです。現在， セントラルスポーッでは，運動あるいは運動と食事コントロールを組み合わせたダイエットプログ ラムが実施されています。今回，この 2 つのダイ ェットプログラムを比較して，それぞれのプログ ラムの効果の特徴について検討しました。

## 【方法】

対象は，プログラム実施27クラブの19～67歳の女性参加者249名でした。

それぞれのプログラムの概要は次の通りでし た。
A．ダイエット\＆エクササイズ
－有酸素運動を中心に，ウェイトトレーニング を併用した 2 回／週（1回90分）のレッスン B．ニュートリダイエット
－有酸素運動を中心に，ウエイトトレーニング を併用した 2 回／週（1回120分）のレッスン
－1日 3 食中の 1 食を 155 kcal のサブリメント にする。
身体組成（インピーダンス法）および形態（身体，体重，胸囲，臀囲，上腕囲，大腿囲，下腿囲）ガプログラムの実施前後で測定されました。

## 【結果および考察】

プログラム実施者は，ニュートリダイエット 1 ヶ月実施者（ND），ダイエット\＆エクササイズ 1 ヶ月実施者（DE1），ダイエット\＆エクササイ ズ 3 ケ月実施者（DE3）の 3 グループに分けら れました。
表1は，プログラム実施前後の身体組成の変化 を示しています。体重，体脂肪率，脂肪量は，い ずれのグループにおいても実施後に有意な減少を示しました。また，除脂肪量も同様に有意な減少 を示しましたが， $0.2 \sim 0.6 \mathrm{~kg}$ とその減少は小さ なものでした。同じ 1 ヶ月の実施期間であった DE1とNDを比較してみると，体重，体脂肪率，脂肪量ともにND のほらが大きな減少を示しま した。また，体重，体脂肪率，脂肪量ともに DE3 は，DE1 の約 3 倍の減少を示しており，運動の継続の効果が認められました。

表1 ダイエットコース参加前後の身体組成

| 年齢（yr）身長（cm） |  |  | 体重（kg） |  |  | 体脂肪率（\％） |  |  | 除脂肪量（kg） |  |  | 脂肪量（kg） |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  |  | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 |
| ダイエット \＆エクササイス |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1ヶ月 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| n | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| mean | 36.5 | 156.3 | 60.0 | 58.7 | －1．3＊＊＊ | 28.1 | 27.3 | －0．7＊＊ | 42.9 | 42.4 | －0．4＊＊ | 17.1 | 16.3 | －0．9＊＊＊ |
| sd | 10.7 | 4.2 | 6.5 | 6.0 | 1.1 | 3.7 | 3.6 | 1.4 | 3.5 | 3.4 | 0.8 | 3.8 | 3.5 | 1.0 |
| 3 ヶ月 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| n | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 |
| mean | 41.8 | 156.2 | 64.0 | 60.4 | －3．6＊＊＊ | 30.7 | 27.6 | －3．1＊＊＊ | 44.1 | 43.5 | －0．6＊＊ | 19.9 | 17.0 | －2．9＊＊＊ |
| sd | 9.8 | 3.8 | 5.8 | 5.3 | 1.9 | 3.3 | 3.0 | 1.7 | 3.1 | 3.4 | 1.1 | 3.6 | 2.8 | 1.5 |
| ニュートリダイエット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| n | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 |
| mean | 36.5 | 156.6 | 59.4 | 57.2 | －2．2＊＊＊ | 28.2 | 26.0 | －2．2＊＊＊ | 42.4 | 42.2 | －0．2＊＊ | 16.9 | 15.1 | －1．8＊＊＊ |
| sd | 10.7 | 4.7 | 6.4 | 6.2 | 1.1 | 3.0 | 3.2 | 1.6 | 4.0 | 3.9 | 1.0 | 3.3 | 3.2 | 1.1 |

図 1 は，プグラム実施前の値の何パーセント減少した分を示す変化率を用いて身体組成の変化を グラフで示したものです。いずれのグループも，除脂肪量の変化は見られず，脂肪のみに顕著な減少が見られました。食事制限のみのダイエットは骨や筋といった除脂肪体重 あ減少させてしまらこ とが報告されています。しかしながら，DEと ND は除脂肪量の減少はほとんどなく，ダイエッ トにおける運動効果がらかがわれました。
表 2 は，実施前後の周囲値の変化を示していま す。いずれの項目も 3 つのグループで有意な減少 が見られました。また，身体組成と同様に，減少 が最も大きかったのはDE3 であり，逆に最も小 さかったのはDE1 でした。

図 2 は，変化率を用いて周囲値の変化を表した ものです。この図でわかるように，上腕囲，大腿囲および腹囲において変化が示されました。一方，変化が小さかったところは，胸囲や下腿囲で した。
以上の結果から，DEと ND いずれのプログラ ムも除脂肪量をそのままに脂肪だけを減少させる適切なダイエット効果が得られることが明かとな りました。さらに，食事コントロールの影響が大 きいものの，適切なダイェット効果を得るために は運動が必要不可欠であることも示唆されまし た。


図1 身体組成の変化


図2 周囲値の変化

表2 ダイエットコース参加前後の形態

|  | 上膓囲（cm） |  |  | 洵囲（cm） |  |  | 腹囲（cm） |  |  | 督囲（cm） |  |  | 大腿囲（cm） |  |  | 下腿囲（cm） |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 | 前 | 後 | 差 |
| $\begin{aligned} & \text { ダイエット \& エクササイス } \\ & \text { 1ヶ月 } \end{aligned}$ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| n | 33 | 31 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| mean | 28.5 | 27.7 | －2．5＊＊＊ | 89.8 | 88.7 | －1．1＊＊ | 76.1 | 73.7 | －2．4＊＊ | 94.4 | 93.2 | －1．1＊＊＊ | 53.1 | 52.1 | －1．0＊＊＊ | 36.5 | 36.0 | －0．4＊＊＊ |
| $\begin{aligned} & \text { sd } \\ & \text { 3ヶ月 } \end{aligned}$ | 2.7 | 2.4 | 3.4 | 6.6 | 5.9 | 1.7 | 7.5 | 6.9 | 1.7 | 4.8 | 4.4 | 1.4 | 3.8 | 3.8 | 1.2 | 2.0 | 1.8 | 0.7 |
| n | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 |
| mean | 29.3 | 27.9 | －1．3＊＊＊ | 93.4 | 90.5 | －2．8＊＊＊ | 80.8 | 76.8 | －4．1＊＊＊ | 97.6 | 93.7 | －3．9＊＊＊ | 54.6 | 51.7 | －2．9＊＊＊ | 36.8 | 35.8 | －1．0＊＊＊ |
| sd | 2.0 | 1.8 | 1.1 | 5.6 | 4.8 | 2.1 | 8.0 | 6.8 | 2.1 | 4.5 | 3.5 | 2.1 | 3.9 | 3.8 | 1.8 | 1.9 | 1.7 | 0.7 |
| ニュートリダイエット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| n | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 | 175 |
| mean | 28.2 | 27.2 | －1．0＊＊＊ | 89.4 | 87.4 | －2．0＊＊＊ | 74.1 | 71.3 | －2．9＊＊＊ | 94.0 | 91.6 | －2．4＊＊＊ | 54.3 | 52.6 | －1．7＊＊＊ | 36.4 | 35.6 | －0．8＊＊＊ |
| sd | 2.2 | 2.1 | 0.9 | 5.6 | 5.2 | 1.5 | 6.7 | 6.4 | 1.8 | 4.6 | 4.5 | 1.6 | 3.5 | 3.3 | 1.3 | 2.1 | 2.0 | 0.6 |

